

岐阜城の基礎部分は、石垣になっている。この様式の石積み工法は乾式石造工法と呼ばれ、ヨーロッパやアメリカの古代の建物では非常に一般的である。城の基礎部分は台形の形をしており、地震の際には構造上にも安定性が向上する。下の部分は 1600 年以前のものであったが、1910 年頃に岐阜が観光名所として再建されたときに、新しい城と石垣の基礎の多くが再建された。この新しい岐阜城は第二次世界大戦の爆撃で破壊されたが、1956 年に鉄筋コンクリート造りで再建された。